



THE SUGGESTION

# 提言

中小企業組合総合研究所機関紙

8月1日

第223号(2024年)

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所  
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F  
電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588  
URL http://www.kumiaisouken.com/

## 戦争は最大の人権侵害 敗戦から79年 近づく軍靴の響きを見逃すな

8月15日、79年目の「敗戦の日」を迎える。太平洋戦争による犠牲者は日本だけでなく、軍人・民間人を合わせて320万人にもおよび、79年前のあの日、日本人は平和の尊厳と、二度と戦争をしない事を誓ったはずだ。それを忘れたかのように岸田首相は、昨年末、2023年度からの5年間で防衛費の総額を43兆円とすると発表した。日本では地震や台風など自然災害が多く、1月に発生した能登半島地震の被災地復興も一向に進んでいない。それにもかかわらず、政府は復興より軍拡に舵を切った。

### 憲法を護るに

現在、日本の総人口における戦後生まれの割合は86%となっている。そして実際に戦地に赴いた経験のある明治・大正・昭和生まれの世代にいたっては総人口の0.5%に過ぎない。戦後生まれの政治家の割合も実に98%に



大阪大空襲で焦土と化した大阪の市街地。はるかに大阪城を望む。

もなっている。戦争の実感が薄れてきた今こそ、戦後の日本社会が戦争の歴史にどう向き合ってきたのかを検証すべきである。日本には「戦争放棄」を謳う日本国憲法があり、それゆえ戦後日本が長期にわたって戦争に直接は関わらなかったという歴史の重みがある。し

### 戦争をさせない

太平洋戦争前後と今の日本の雰囲気がある。満州事変(1931年)頃までは、対外的には英米は最大の貿易国であり、協調外交も保たれていた。国内では政党政治が機能し、都市に住む人は西歐をモデルにした都市文化を謳歌するなど、それなりに豊かに暮らしていた。

それが、まさか10年後にその欧米との戦争が始まるなど予想もできなかったはずだ。しかし戦争は起き、多くの人が犠牲になった。そこには必ず分岐点があったはずである。

### 戦争で完膚なきまでに

焦土化され、生きていくのに必死だった日本人に あつたのは「あの悲惨な戦争を繰り返してはならない」という体験に裏打ちされた平和主義だったはず。それがいま崩れつつあると感じはしないか。そう感じるとすれば、すでに「変化」は始まっている

「8月15日は何の日か」と問えば、多くの人は「終戦の日」と言う。日本は降伏文書に調印した事からも分かる、戦争に負けたのだ。それゆえ「敗戦」とするほうが実態にあっているのではないか。

### 国民的な総括を

「8月15日は何の日か」と問えば、多くの人は「終戦の日」と言う。日本は降伏文書に調印した事からも分かる、戦争に負けたのだ。それゆえ「敗戦」とするほうが実態にあっているのではないか。

弾薬や食料、水などの十分な補給もまま、過酷な戦いを強いられた。その結果、失われた日本兵200万人以上は、戦死より餓死や病死の方が多かった。そんな無謀な戦争をしたという反省を留めておくためには「敗戦」

という言葉の方が適切ではないだろうか。政府は戦争を語る時、原爆や空襲などの被害については言うが、アジア各地で侵略戦争を繰り返してきた加害については語ろうとはしない。それは本場の意味で国民的な

総括がされていないからではないか。それゆえ、今も慰安婦や徴用工の問題を引きずっているわけである。歴史の事実から学び、そしてこの平和主義を守るといふ事の大切さのために、しっかりとした戦争の総括が必要である。

## 繰り返される米軍の性的暴行事件に怒りの声



米兵の相次ぐ事件に、怒りをあらわにする玉城知事(7月2日)

緒が一切なかった事だ。

その3日後には、女性への不同意性交渉の疑いで、別の在沖繩アメリカ海兵隊員を5月に沖繩県警が逮捕、起訴した事も明らかになった。いずれの事件も「被害者のプライバシー保護」などを理由に公表されず、沖繩県側にも伝わっていなかった。

7月1日の沖繩県議会ではこの2件と合わせ報道発表されていない性的暴行事件が昨年以降計5件あった事も判明した。地元では「隠蔽ではないか」と強い抗議の声が上がっている。この事が、6月16日投票だった沖繩

沖繩だけの問題ではなく日本全体の問題として沖繩だけの問題ではなく、本土側がつくっている問題だ。日米地位協定や基地があるが故に問題解決につながる。地位協定の抜本的な見直しや将来的な沖繩の基地解消を進めない限り悲劇は無くなる。

いつまで繰り返されるのか。またしても起こったアメリカ軍による犯罪に強い憤りを覚える。在沖繩アメリカ空軍の男が昨年12月、沖繩県読谷村の公園で16歳未満の少女を車で誘拐、自宅に連れ込み、同意なくわいせつな行為をしたとして那覇地検が今年3月、わいせつ目的誘拐と不同意性交の罪で起訴していた事が分かった。

信じ難いのは、起訴を受け、外務省が3月末に駐日アメリカ大使に抗議しながら、起訴から約3カ月後の6月25日に沖繩県が問い合わせるまで、外務省から沖繩県への連

総括がされていないからではないか。それゆえ、今も慰安婦や徴用工の問題を引きずっているわけである。歴史の事実から学び、そしてこの平和主義を守るといふ事の大切さのために、しっかりとした戦争の総括が必要である。

沖繩県で起きた米軍による主な事件・事故(1995年以降)

1995年	沖繩本島で米兵3人が小学生を暴行
1998年	那覇市で米兵が民家に侵入し、20代女性を暴行
2000年	沖繩市で米兵がアパートに侵入、女子中学生に猥褻行為
2003年	金武町で米兵が10代女性を殴り、暴行
2004年	宜野湾市の沖繩国際大学に米軍ヘリが墜落
2016年	うるま市で米軍軍属が20代女性を暴行、殺害
2021年	那覇市で米兵が女性を暴行しようとして怪我を負わせる
2023年	沖繩本島中部で米兵が少女を誘拐し、暴行
2024年	沖繩本島中部で米兵が暴行目的で、怪我を負わせる

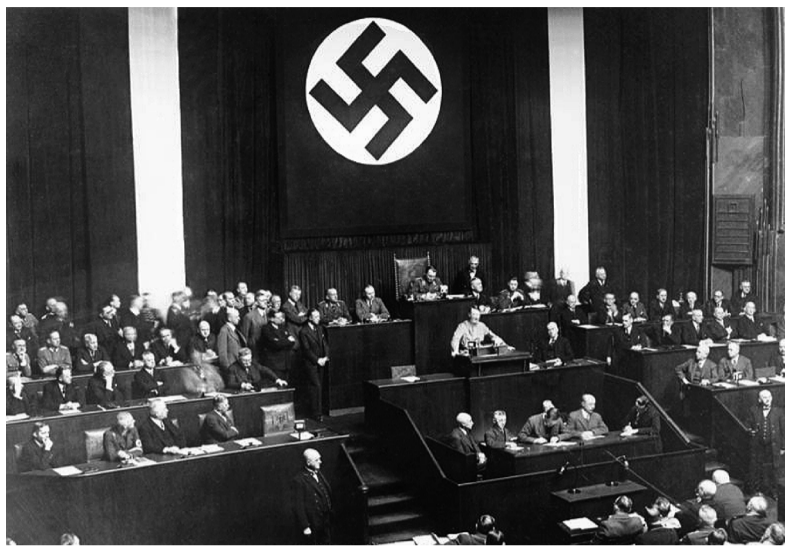
**四季折々**  
79年目の敗戦の日  
多くの国民は8月15日を終戦記念日として記憶している。敗戦とは字の通り負けた日だ。終戦とは戦争が終わった日となる。  
1945年8月15日はポツダム宣言受諾を昭和天皇がラジオで玉音放送した日である。アメリカ軍の戦艦であるミズリ号上でポツダム宣言受諾に調印したのが1945年9月2日である。ポツダム宣言は13条から成り立っており、その13条では「日本政府、日本国軍隊の無条件降伏」を謳っており、これは昭和天皇はじめ当時の権力者が同意した国際的な文書である。  
このポツダム宣言を受けて軍隊の解体、大企業と大地主の解体、特高警察と内務省の解体、そして憲法の設立へと進み、日本の民主化が達成されて行くことになる。憲法は「平和主義」「主権在民」「基本的人権擁護」を謳っており、今日までの社会生活の基礎となっている。  
ところがこの間の財閥の復活、憲法9条にある「陸海空軍の不保持」「交戦権の否認」を護るに努めて世界屈指の軍隊(自衛隊)を持ち、専守防衛から沖繩南西諸島へのミサイルや軍艦の配置、トマホークミサイルの所有等による敵基地先制攻撃態勢を整えている。国民弾圧立法として、特定秘密保護法の制定、共謀罪の成立と、国民弾圧立法は完成しており、いつでも発動できる体制である。更に集団的自衛権の立法確定により、アメリカの行なう戦争に、いつでも世界各地どこでも戦争ができる体制が整っているのである。  
今生きている者たちは歴史を教訓にして、再び戦争を許すのか否かが問われているのである。(武建一)

# 独裁への道を開く懸念が 緊急事態条項は本当に必要なのか

5月27日、憲法改正をめぐる超党派の国会議員らでつくる団体が開いた「新しい憲法を制定する推進大会」に岸田首相はビデオメッセージを寄せ、この中で「憲法改正は先送りのできない課題で、時代にそぐわない部分や不足している部分は果敢に見直していかなければならない」と述べ、加えて「緊急事態条項の制定は今まさに国民に問うべきテーマ」と訴えた。かつてこの緊急事態条項が悪用され、独裁へと走らせてしまった国がドイツである。日本の憲法に「緊急事態条項」を持ち込んだ場合に、ドイツと同じ危険を起さないという保証はあるのか。もう「知らなかった」では済まされない。

## 世界で最も民主的といわれた ワイマール憲法下でなぜ独裁が

第一次世界大戦敗北を契機として勃発した革命でドイツ帝国は崩壊し、民主主義国家となったドイツで1919年、ワイマール憲法は制定された。憲法の条文には世界各国の民主主義憲法に繋がる先進的な項目が並んだ。国民民主権や思想信条の自由、基本的人権の尊重が盛り込まれ、イギリスやアメリカに先んじて女性に参政権が与えられた。労働者の権利保護が明文化され、一日8時間労働



議場で全権委任法への賛成を要求するヒトラー(1933年)

制や団結権が認められた。

その民主的なワイマール憲法の下で、なぜアドルフ・ヒトラーの独裁を許してしまっただのか。実はワイマール憲法には、憲法を崩壊させる事に繋がる条項があった。革命後の混乱を鎮めるために盛り込まれた「大統領緊急令」である。「国家が緊急事態に陥った場合に、大統領に権限を集中する」というもので、公共の秩序回復のために武力行使を含め緊急手段を取る事が認められ、さらに国民の権利を制限する事もできた。この条文が14年後、ナチスの独裁を許す事になる。

### 独裁への道筋

敗戦後の帝政崩壊を経たドイツでは、不安定な政情に対応するため、1923年に国会で全権委任法(授権法)が制定された。これは経済と財政に限り国会の審議を経ずに、首相が法律を制定できる時限立法であった。



炎上するドイツ国会議事堂

成立させたのが「全権委任法」だった。全権委任法は、元々は経済と財政に限り対象をあらゆる分野に広げた法案を国会に提出。暴力をちらつかせて

## 国民の権利を縛る 緊急事態条項は必要なのか

### 旧憲法の反省から

現行の日本国憲法には「緊急事態条項」はないが、戦前の大日本帝国憲法には4つの緊急事態条項があった。議院閉会中に緊急の必要がある場合に天皇が法律に代わるものとして命令を出す「緊急勅令」。行政権や司法権の一部を軍隊に移す「戒厳」。戦争や事変の際に天皇が国民の権利を制限できる「非常大権」。戦争遂行のために本来議院が持つ「緊急財政権」を政府が持つ「緊急財政措置」だ。

### 危険な自民党案

自民党は2012年に公表した憲法改正草案において「緊急事態条項の創設」を提案した。その内容は、緊急時には首相に権限を集中させ、国会議員の任期延長を可能とし、与党は政令を出し、そして強行採決して

し放題、すべての人が否応なく国に従うことを余儀なくされ、法の下の平等や思想・信条・表現・言論の自由などといった権利を制限してしまうというものであった。さすがにこれでは理解を得られないと思ったのか、翌年3月に提示した「改憲たき台素案」では、緊急事態条項を新設するのではなく、「憲法73条」ならびに「憲法64条」に付け加える案に変更している。その内容は「第73条2・大地震その他の異常かつ大規模な災害により、国会の承認を求めなければならぬ」「第64条2・大地震その他の異常かつ大規模な災害により、衆議院議員の総選挙又は参議院議員の通常選挙の適正な実施が困難であると認めるときは、国会は、法律で定めるところにより、各議院の出席議員の3分の2以上の多数で、その任期の特例を定めることができる」となった。

### 現行法でも対応可能

### すでに戦時体制に

例えば衆議院の解散などの時に緊急事態が発生した場合、現行憲法で対応できるのだろうか。これに關しては参議院の緊急集会という制度が憲法上認められており、一時的に参議院が国会を代替し、予算や法律を議決するとなつている。もし衆参ダブル選挙の時に緊急事態が発生したとしても、衆議員議員はいなくとも、参議院の半数の議員は残っており、この時も参議院の半数の議員によって緊急集会を使って国会の代りに機能させることが可能だ。だから、わざわざ憲法改正する必要はない。民主主義の基本は「法の支配」で「人の支配」ではない。人の支配は性善説が前提となつているが、良い人ばかりではない。緊急事態条項は権力分立を停止してしまうものである。人間というのは誰しも権力を持ちたがる。そして一旦持てば乱用しがちである。それを防ぐために権力分立がある。



改憲派の集会で上映された岸田首相のビデオメッセージ

# なぜ政府は強引に導入を進めるのか マイナンバーカードと保険証の一体化は誰のため?

「日本はデジタル後進国だから」として政府が進めているマイナンバーカード普及策。だが、マイナンバーカードのような国民ID(身分証明書)と、健康保険証を一体化させている国は、先進7カ国(G7)でも日本だけである。マイナンバーのような国民共通番号制度を否定する国もあれば、個人の自由を重んじ、制度導入後の政権交代でカードが廃止された国もある。それにもかかわらず、なぜ日本は強引に導入を進めようとしているのか。

6月18日、政府は、対面で携帯電話を契約する際に必要な本人確認の方法として、マイナンバーカードなどに搭載されているICチップの読み取りを事業者に義務付ける事を決定した。

すでにマイナンバーカードと健康保険証の一体化も決定されており、現行の健康保険証は2024年12月2日に廃止され、

## 番号統一は日本だけ

政府はマイナンバー導入のメリットとして「引越などに伴う行政での書類等による変更手続きが



衆院特別委の閉会中審で(前列左から)松本総務相、加藤厚労相、河野デジタル相

「確定申告が簡単になる」「生活保護の不正受給が少なくなる」などを挙げている。そして「先進国で番号制度がないのは日本だけ」としていた。

しかし2023年7月5日の衆議院特別委員会の閉会中審査で、長妻昭議員(立憲民主)はマイナ保険証について「つぎ(G7)他の国もやっ

厚生労働相(当時)は「G7では、異なる行政分野に共通する個人番号制度を有した上で、個人番号を確認できるICチップ付きの身分証明書とな

て、日本も遅れないようにやっていると。他国はやっていない」と政府に問いただした。

## 各国の番号制度は

番号制度には大別して2種類ある。一つは、税だけに使う番号や、社会保障だけに使う番号など用途を限定して使う限定番号制度(セパレートモデル)で、現在の日本での基礎年金番号、健康保険の記号番号などがこれにあたる。もう一つは、一つの番号を税や社会保障など多くの分野で使う共通番号制度(フラットモデル)で、マイナンバーもこのタイプになる。世界的に見るとセパレートモデルを採用している国が多く、取得も任意が一般的である。各国の個人番号や身分証明の制度はどうか。

各国における番号制度の概要

国名	IDの名称	用途	形式
アメリカ	社会保障番号	社会保障など	F
イギリス	国民保険番号	社会保障など	S
フランス	社会保障番号	住民登録など	S
イタリア	税務番号	税務など	S
スウェーデン	個人識別番号	住民登録など	F
ドイツ	税務識別番号	税務	S

※ F: フラットモデル S: セパレートモデル

## ●アメリカ

アメリカでは社会保障番号が行政分野のほか、民間でも共通番号として幅広く使われているが、カード取得は任意である。社会保障番号制度を早くから導入しているアメリカでは、1960年代以降、個人情報流出やなりすましが社会問題となり、年間1000万人が被害に遭っている。個人の多くの情報が社会保障番号にひも付けられているため、紙のカードを持ち歩く人は少ない。

## ●イギリス

イギリスでは第二次世界大戦中の1939年に戦時措置として、国民登録法で身分証明書として使用できる共通番号とIDカードを導入。戦後、個人の身元を証明する行為は強制されるべきではないとの反発が強まり、1953年に廃止された。

その後、2000年代にテロ防止などの観点から国民IDの導入が検討され、2006年にブレア政権(労働党)で「国民IDカード法」が成立。共通番号として「英国ID登録簿」を作成することになったが、2010年に保守党に政権交代すると「英国ID登録簿は恒常的な人権侵害装置で

## ●フランス

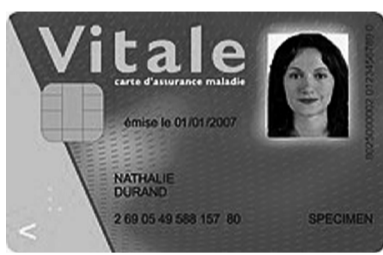
フランスでは医療を受ける際に必要な社会保障番号や、税申告義務のある人に割り振られる税務登録番号など、複数の番号がある。社会保障番号は国勢調査や徴兵の調査を実施するため1941年に導入された。

1998年には社会保障番号が付いた電子健康保険証(ビタルカード)が作られ、16歳以上の国民に自動発行されるようになった。ただ、これとは別に国家身分証明書カードもあり、別々に運用されている。個人情報保護を担う独立行政機関は、「国民登録番号が分野をまたいで利用されると、これがキーとして国民の全情報が閲覧されるリスクがある」として、全省庁を横断して普遍的に利用しないことが基本方針になっている。

## ●ドイツ

ドイツでは、行政手続きで使う税務識別番号、医療被保険者番号など分野別に複数ある。こうした番号とは別に国民の身分証明書もあり、2010年にICチップ付きの「eIDカード」を導入した。16歳以上に取得義務があり、年金情報や運転免許証登録情報の閲覧、銀行の口座開設などにも使える。このように行政が個人を識別するさまざまな番号と、eIDカードのような身分証は分野ごとに管理している。

番号の共通化を巡っては、1970年代に西ドイツで検討されたものの、プライバシー侵害を懸念する声が強くなり実現しなかった。断念の背景には、第二次世界大戦中にナチスが強制収容所でユダヤ人に番号を割り振って管理した負の歴史が影響している。ドイツでは一つの番号にさまざまな情報をひも付けることに対し、漏れ



ビタルカード

## ●ドイツ 番号共通化せず

なぜこんなにも政府はマイナンバーカードを普及させたいのか。政府は「国民の利便性向上」を挙げているが、保険証との一体化や先々予定されている運転免許証との一体化など、事実上の義務化を強引に進めるのは、目的が国民の利便性向上よりも、マ

## マイナンバーをめぐるトラブル

- ◆マイナカードを健康保険証として使うにあたって 別人の情報になっていた
- ◆コンビニで証明書を受け取るサービスで別人の記録が出てきた
- ◆役所からお金を受け取る銀行口座が別人のものになっていた

## 政策の裏に透けて見えるもの

イナンバーカード普及にあるように思える。また「行政の効率化」を理由にするが、これも行政側から見れば、国民一人ひとりの状況を、番号だけで把握することが可能になるという事でもある。マイナンバーカードの普及が進まないのは、政府が求める

が説明する以外の、本来の目的があるのではないかと、国民の政治不信が番にあるのではないだろうか。

日本以外のG7各国でマイナ保険証的なものが無いのは、国民世論を反映した民主主義の結果だ。カードを事実上義務化するために、政府が一方的に保険証廃止を決めるなど、非民主主義的な手段を使った国はない。利便性という名の下の進められる政策が、国民にとって本当に必要な見極める目が求められる。

# 「憲法9条」は平和主義の源流 世界に存在する本常に軍隊のない国家

20世紀に起こった二度の世界大戦と世界各地の紛争によって1億5000万人が亡くなった。21世紀になって、世界を巻き込むような大戦こそ起きていないが、世界各地での紛争は無くならない。そして、各国の防衛費も増える一方である。「自衛のため」と称している日本の自衛隊でさえ防衛費は5.2兆円(2019年度)で、20年前と比べて3000億円も増えている。中国やロシア、そしてアメリカの軍事費も増えるばかりで、2017年の全世界の軍事費は190兆円にも迫り、大きな財政負担になっている。しかし、どの国も軍を放棄したり、削減するようなことはあまりない。そんな中、世界には軍を捨てる、あるいは持たないという選択をした国がある。



コスタリカの首都サンホセで行なわれたパレードで練り歩く子どもたち。国連や世界各国の旗を持っており、国際主義を重んじる姿勢がにじむ。

恒久的制度としての軍隊の廃止と、常備軍を廃止した。1983年には「永世非武装中立」を宣言した。

## ■リヒテンシュタイン

1868年当時、農業国家だった同国で、農民が軍隊のための税金に抵抗したことがきっかけとなり、侯爵の権限で軍隊を廃止し、「非武装永世中立国」を宣言した。

## ■バチカン市国

バチカンとしての軍は持たないが、ローマ教皇を守るためにスイスの兵士を雇うという長年の伝統があり、常時120人のスイス人警備隊が治安を守っている。

## ■パナマ

アメリカ軍のパナマ侵攻の結果、1990年に軍が解体された。1994年改正された憲法で軍の非保有を宣言。

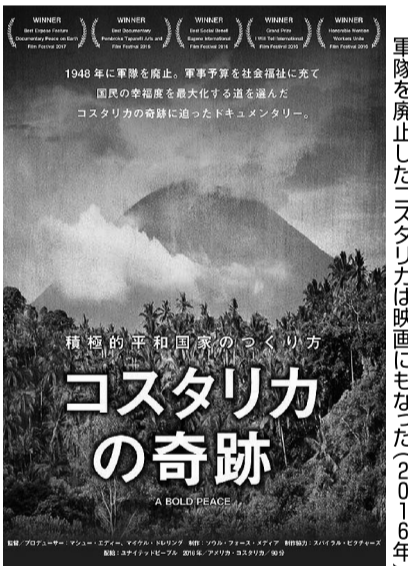
## ■モーリシャス

1968年の独立以降、島国という地政学的な理由から、周囲に脅威となる国が存在せず、そのため軍隊は保持していない。約1万人の警察、特殊機動部隊、および沿岸警備隊を有しているが、予算はモーリシャス国内総生産(GDP)のわずか0.3%である。

## 平和をめざす7国

### ■コスタリカ

1948年に勃発した内戦で2000人の犠牲者を出した反省を踏まえ、翌年立案された憲法で、



軍隊を廃止したコスタリカは映画にもなった(2016年)

## ■バヌアツ

バスアツ機動部隊と呼ばれる国家警察指揮下の準軍事部隊が存在するが、国軍はない。

## ■ツバル

平和愛好国とのみ国交を持つという方針を有しており、英連邦諸国、援助供与国、太平洋諸国等との関係が強い。警察官が約100名いるが、軍隊は存在していない。

## 集団安全保障に参加している国家

### ■アイスランド

軍隊は保有していないが、北大西洋条約機構(NATO)に加盟している。沿岸警備隊の他、外務省が平和維持目的で国外派遣する危機対応部隊を保有している。

### ■セントビンセント・グレナディーン

独自の軍は保有していないが、王立の警察軍があり、首相が内相、国防相を兼ねる。東カリブ諸国機構などからなる地域

ていない。防衛についてはイタリアが責任を持つ。同軍の派兵に際してはモナコの要請・同意が必要。

## 安全保障システム(RSS)に参加している

### ■セントルシア

RSSに参加しており、沿岸警備隊と特殊部隊を含む王立セントルシア警察隊を保有している。

### ■ドミニカ

1981年のクーデターで軍隊が自国民を殺害した事が理由となつて軍隊を廃止した。RSSに参加しており、沿岸警備隊と特殊部隊を含むドミニカ警察隊を保有している。

### ■グレナダ

1983年、アメリカのグレナダ侵攻により、グレナダ人民革命軍は解体された。RSSに参加している。軍隊の代わりに王立グレナダ警察軍と沿岸警備隊を保有している。

## 特定の国家に防衛を依存する国家

### ■サンマリノ

儀礼的な軍隊はあるが、現代的な軍隊は保有していない。フランスによって領土の防衛を約束されている。ただし緊急事態を除き、

### ■モナコ

フランスによって領土の防衛を約束されている。ただし緊急事態を除き、

同軍の派兵に際してはモナコの要請・同意が必要。

## ■アンドラ

外交権限は自国政府が行使するが、常備軍は持たない。国防についてはスペインとフランスが責任を持つ。

## ■サモア

ニュージージーランドとの友好条約に基づき、有事の際はニュージージーランドが支援する。

## ■クック諸島

防衛についてはニュージージーランドが責任を負う。

## ■ニウエ

防衛と外交についてはニュージージーランドが責任を負う。

## ■キリバス

憲法で常備軍の保有を禁じている。国防についてはオーストラリアとニュージージーランドが保障している。

## ■ソロモン諸島

1978年に独立。イギリス連邦の一員である。ロイヤルソロモン諸島警察(RSIPF)が軍事的要素を担っているが、軍は保有していない。

## ■ナウル

国防軍は持たない。防衛については非公式ながらも、オーストラリアに委任している。

## 憲法9条の世界史的意義を

1946年の日本国憲法公布から78年が経過した。もしこの間に、日本政府が「憲法9条」を世界に宣伝し、推奨してきたならば、今頃、世界には「戦争放棄憲法」があふれ、軍隊のない国家は100を数えていた可能性もあるのではないかと、現実は逆で、政府は「憲法9条」を捻じ曲げ、空文化することに精力を注ぎ込んできた。「憲法9条」は、世界で初めて戦争放棄、戦力不保持、交戦権否認を謳った輝くものである。使つて初めて輝くものである。

# 地域アンシエーションの芽(64)

京都大学名誉教授 本山美彦

## 種子をめぐる勢力(10)

### 日本の醤油が

#### 大豆の英語名になった事情

大豆の英語表記である「soy」(ソイ)の語源は、日本語の「shoyu」(醤油)であるとされている。1600年前後に、日本の醤油がヨーロッパに持ち込まれた。持ち込んだオランダ貿易商が、まずオランダ語で「soya」と呼び、ポルトガル語やスペイン語の「soja」を経て、英語の「soy」になったというのが通説である([https://soymil-lshop/blogs/soymil\\_magazine/soymil\\_name\\_reason](https://soymil-lshop/blogs/soymil_magazine/soymil_name_reason))。

「大豆」(soy)の語源が「醤油」(soy source)であるという通説は、誤りではないだろう。しかし、「大豆」という固体が、なぜ「醤油」という液体で呼ばれていたのか? そもそも、醤油という言葉



『大日本物産図会・下総国醤油製造之図』 三代・歌川広重

葉はどこからきたのであるか? 「醬」とは何か? 醬の下に付く「油」とは何か? 醤油は「あぶら」ではない液体である。「あぶら」ではないのに、どうして「油」という字が用いられているのか?

昔の中国では、液体に「油」の字を当てていたらしい。日本人はそれに倣ったのであろう。そしてこの液体という事実が大事なことなのである。

醤油は、醸造により、穀物のたんぱく質を分解させて、アミノ酸を作った液体調味料である。誰もがこの旨味に魅了されていた。ところが、この液体を作るのが難しい。

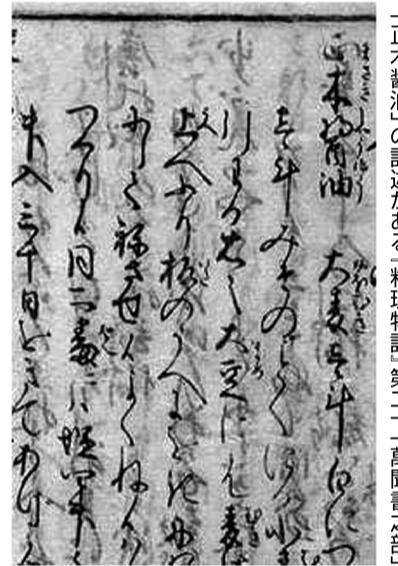
江戸時代初期には、原材料として、大豆や小麦などを大量に投入しても、生み出される旨味を持つ液体はわずかの量しかなく、結果的にその液体は非常に高価なものにたぎるを得なかった。1643年に刊行された『料理物語』という料理本がある。そこに、当時「正木醤油」と呼ばれていた醤油の製法が記されている。

「精白した大麦二斗と小麦三升を炒(い)つて、挽(ひき)割り粉にする。大豆二斗を煮て、麦の粉と合せ、にわたこの葉(スイカズラ科の落葉樹。茎・葉は煎じ薬を蓋(ふた)にして麹(こうじ)をつくる。麹が十分生育した後、塩水(塩八升、水二斗)、麴四升を混ぜ、三十日間寝かせておく」。

こうしてできた醤油がどのくらいの量なのかは書かれていないが、少なくとも原材料の多さと手間暇を鑑みれば、醤油はきわめて高価であったに違いない(<https://www.kikkoman.com/jp/kiife/tenji/tenji5/soysauce-05.html>)。

液体である醤油が登場する以前には、古く中国の後漢の時代の頃から、穀物を食塩を加えて発酵させた固体な「半固体状の「醬」(sho)と呼ばれる調味料が使われていた。

現在残されているオランダ東インド会社の「長崎商館仕訳帳」によると、醤油の正式な輸出は、1647年に始まった。数値



「正木醤油」の記述がある「料理物語」第二十一「萬間書之部」

た。これを液体にできた。これの思いが、本場の中国でも、伝わってきた日本でも、強かった。人々は、この醬から液体部分を苦心して分け取り、液状の調味料として使う努力をしていたのである。

中国とは違う、独特の味を持つ現在の日本の醤油は、ほぼ江戸時代に完成していた。醸造家達によつて生産された醤油が商品としておおいに発展し、当時、世界最大都市であった江戸の市場を席巻しただけでなく、アジア各地やヨーロッパにも長崎から輸出されるようになった。各国の宮廷料理の隠し味としても珍重されたと言われている([http://biokids.jp/salon/modules/salon/index.php?topic\\_id=29](http://biokids.jp/salon/modules/salon/index.php?topic_id=29))。

運ばれ、その全量は1万5571リットル、年間平均700リットル強となる。これは、日本の醤油が当時から調味料として優れたものであり、アジアだけでなくヨーロッパの人々からも、高い評価を受けていた(この証拠と言える<https://www.kikkoman.com/jp/kiife/tenji/tenji5/soysauce06.html>)。

出島から輸出される品物には、「本方荷」(もとかたに)と「脇荷」(わきに)という区別があった。本方荷は、「オランダ東インド会社」自身が行なう取引荷物のことで「こんばんや荷物」とも呼ばれ、公的な貿易荷物のことであった。これに対して、脇荷は「役者荷」(やくしゃに)のこと。この役者とは、俳優という意味ではなく、貿易の役割を担う人物を指す(「漕者荷」(そうじやに。漕者とは文字通り船を操る人)ともい、商館長を始めとする商館職員、交替要員、オランダ船乗組員などの個人用貿易品を指していた)。

幕府による貿易統制下の醤油輸出量

60年の24年間に、醤油は、長崎の出島(バタビア(現ジャカルタ))とオランダとというルートで、ヨーロッパに



江戸時代、唯一オランダとの貿易が許されていた出島(長崎)

1685年、その総取引高の上限を銀額(銀の量で量った金額のこと)にして400貫と定めたが、1737年からは、上限額を廃止した。ただし、脇荷取引は、1685年に始まったわけではなく、長崎貿易の初期から行なわれていた。

醤油の輸出も、本方荷と脇荷の2本立で行なわれていた。そして本方荷による輸出は、1647年に幕府によって公認され、150年間続けられていたが、1792年に廃止された。脇荷による輸出は、1854年の日本が開国するまで続けられていた。つまり、幕府による貿易管理ができなくなったのである(<https://www.kikkoman.com/jp/kiife/tenji/tenji04/edo4.html#:~:text=>)。

## 社会資本政策研究会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三丁目一三番一  
電話 (06) 4862-1400  
FAX (06) 4862-1400

## サンセイ生コンクリート株式会社

代表取締役 稲村 義昭  
〒651-1412 兵庫県西宮市山崎町下山口六五二  
電話 (078) 904-1369  
FAX (078) 904-1107

## 関連団体を支援する会 KU

関西生コン関連  
経営者会

## 提言文芸

~投稿歓迎~

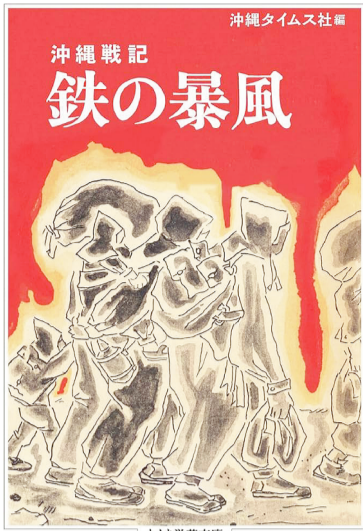
・危機迫る 物価高にて 鬼気迫る (怒りのブドウ球菌)  
・身の丈をはるかに超えた 防衛費 (ルパン反省)

政府が盛んに喧伝する「〇〇危機」、さらに物価高で庶民の暮らしは危機と鬼気ぞうばいで、なかなか喜ばせません。国の収入をはるかに上回る兵器購入。それはカードで無尽蔵に買い物しているようなもの。国民は打ち出の小槌ではありません!

書籍紹介

沖繩戦記『鉄の暴風』  
沖繩タイムス社編 ちくま学芸文庫

第二次世界大戦における最激戦地の一つ沖繩。逃げ場のない島での戦闘はすさまじく、県民の4人に一人が命を落とし、軍民合わせて20万人もの尊い命が犠牲となった。本書はその惨状を従軍記者が克明に綴った記録で、1950年の初版以来、版を重ねて読み続けられてきた。二度と戦争をしない、させないために生存者たちが語った真実を記録する必読の書である。



戦争の真実を全国に

『鉄の暴風』は沖繩タイムス社常務の豊平良顕氏が監修し、記者の牧港篤三氏と太田良博氏(いづれも故人)が、住民への聞き取りや集めた手記を編集して執筆。戦後まもない時期に初めて住民の目線で記録した戦記として、米軍占領下の1950年8月に出版された(初版は朝日新聞社に依頼して出版)。戦後の混乱の中、全体像を知り得ない時代に沖繩の戦場で何が起っていたか、住民の体験を記録した本は発行2カ月で7000部販売されるなど大きな反響を呼んだ。

以来10版3刷を重ねてきた同書が、このたびちくま学芸文庫から初

受けられず亡くなつていく人々、そして民間人にも及んだ自死の強制。本書は行動を軍とともにした記者たちが自らも体験したその壮絶な戦場の実態を、生存者をたずね克明に記録したものだ。

沖繩戦の関連本は数多く出版されてきたが本書は別格だ。これほどまでに凄惨な記録に出会うことはそうあるものではない。まさに『鉄の暴風』と呼ぶに相応しい砲撃と壕の入り口から火炎放射を浴びせ、さらに爆弾を投げ込んで内部を徹底的に破壊する米軍の「馬乗り攻撃」、身近な人の死にさえ心動かされぬほどすり減らされた精神、際限なき飢えと渇き、死よりも捕虜となることへの恐怖……本書には米軍ですら「ありつたけの地獄をつめこんだ」と表現した沖繩戦の悲惨な様相が全ページにわたって描かれており、全ページすべてに沖繩の人々の血が流れている。いまだその傷口は、ふさがらない。住民を巻き込んだ地上戦の貴重な記録として、日本は

スの魂であり原点である『鉄の暴風』は、戦場になれば沢山の住民が犠牲になることを伝えている。戦争は遠い過去の出来事ではない。再び軍事化が進んでいる沖繩から全国に向けて発信する意義を重視した」と話す。そして「日本が外国と戦争したことを想像すらできない世代が増え、反比例して戦争体験者は減っている。二度と戦争をしない、させないために、ひとたび戦争が起こればどうなるのかをありありと伝えるこの名著を多くの読者に届けたいと文庫化を企画した」という。

くま学芸文庫から初めて文庫として出版された。沖繩戦体験の貴重な記録として読み継がれてきたロングセラーが、戦後80年を前に、全国の書店に流通することになる。筑摩書房から文庫収録の要請を受けて、沖繩タイムス社では役員会で複数回にわたって検討された。沖繩タイムス社の「魂」であり「原点」である『鉄の暴風』は、沖繩タイムス社が出し続けることに意義があるのではないかと、この「魂」を改めて送り出す意義を重く見たからである。

ありつたけの地獄

本書のタイトルの『鉄の暴風』とは、1945年3月26日から3カ月間にわたり、途絶えることなく続いた艦砲射撃や空爆のすさまじさを表現した言葉だ。地形が変わるまで撃ち込まれた砲弾、壕に逃げ込んだ住民を炙り出す執拗な火炎放射、食料も水もなく治療も

軍は住民を守らない

戦後80年を迎えようとする今、本書が改めて全国に送り出される意味は何か。79年前の地上戦で焦土と化した沖繩で今、再び戦争の準備が進んでいる。辺野古で新基地建設が進み、南西諸島に自衛隊の拠点が新設され、強化されようとしている。攻撃を受ける事を想定した避難訓練や疎開の計画まで持ち上がり、まるで今が戦前かのような感覚に陥る。本書に記録された景色から現在までが地続きの沖繩では、再び戦場にされようとしている。空気を確かに感じている。

あらためて「軍隊は住民を守らない」という沖繩戦の教訓を広く共有する時ではないだろうか。今も世界で止むことのない戦争を目の当たりにして、鉄の暴風が止んでもなお続く過酷な社会を知る者は皆その責任を負っている。

頑張れ尾上部屋  
伊波 全勝で三段目優勝

大相撲七月場所(ドルフィンズアリーナ/愛知県体育館)では、先場所優勝の大の里(三所)の関部屋が序盤で黒星を重ね早々に優勝戦線から脱落。春場所でも新入幕優勝を飾った尊富士(伊勢ヶ濱部屋)も怪我が完治せず、8日目(7月21日)から出場し、十両残留を確実にする2勝を挙げた後、10日目(23日)から再び休場した。そんな中、横綱・照ノ富士(伊勢ヶ濱部屋)が12勝3敗で並んだ平幕の隆の勝(常盤山部屋)との優勝決定戦を制して、初場所以来となる10回目の優勝を決めた。



伊波(右)が時天嵐を上手投げで破る

相手の時天嵐は東京農大出身で、大学時代から旧知の仲だ。「大学の時はぶちかましてくる相撲だったのが、胸からくる相撲になつてきた。自分は上手を取れたらと……勝つならその相撲しかなかった」と話した。

日大同期生同士で切磋琢磨しながら伊波は鹿児島県奄美市出身の23歳。幼少期は野球少年だったが、諸事情でバドミントン部に在籍していたという。鹿児島商高で監督の熱心な誘いを受けて、やるつもりはなかった相撲を始めた。その後、強豪の日本大学に進み、今年の初場所の前相撲で初土俵を踏んだ。

序ノ口と序二段をいずれも6勝1敗と勝ち越し、三段目に番付を上げた今場所は、身長189センチ、145キロの堂々たる体格を生かしての四つ相撲を持ち味に白星を重ねた。相撲の技術については「得意は分からないんです。突き、押しを学んでいるんですが、上手を取る相撲の方が得意ですね」と言うが、伸びしろは十分だ。大器が順調に番付を上がり、来場所は幕下を確実にした。

七月場所 尾上部屋力士成績

☆印は勝ち越し

番付	四股名	成績
幕下	城間	3勝4敗
	春山	2勝5敗
	北天海	☆4勝3敗
三段目	穂高	2勝5敗
	大海	1勝6敗
	坂林	2勝5敗
	高馬山	3勝4敗
	伊波	☆7勝0敗
序二段	玄武丸	☆5勝2敗
	照賢	☆4勝3敗
	九鬼王	☆4勝3敗
	富士の輝	2勝5敗
	高倉山	☆5勝2敗

三段目優勝の伊波

天嵐との直接対決を上手投げで制し、7戦全勝として優勝を決めた。

七月場所12日目を終えて、三段目の伊波(尾上部屋)と時天嵐(時津風部屋)と関塚(田子ノ浦部屋)の3人が6戦全勝で並んでいたが、13日目の7月26日、先に取組のあった関塚が敗れ、伊波は時

伊波は「緊張しました」と言いながらも、初めての格段優勝に「めちゃくちゃ嬉しい。序ノ口と序二段はあと二歩だったので、やっと全勝できたのが一番」と表情を緩ませた。



白旗を手にガマから出てきた少女

※九月場所(秋場所)の番付は8月26日に発表